

## 活動概要

2011年度の活動は、モバイル・メディアとアート表現を中心として教育指導にあたりと共に研究制作を行い、相互関連するかたちで産官学連携事業や地域連携活動を行った。また、電子出版やクラウド・ファンディングなどの流通や資本の新しい在り方にも取り組むことになった。総じて多岐に渡る活動となり、他の教員や学生、卒業生との共同作業を通じて得られた成果も多かった。

## 学内活動

### 授業

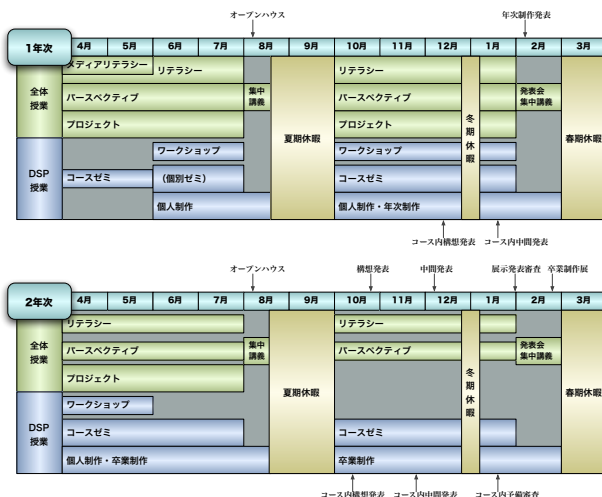
#### 情報科学芸術大学院大学

メディア情報学特論、新しい時空間における表現研究プロジェクト、スタジオ2ゼミを担当した。同プロジェクトでは制作指導した作品がIAMASオープンハウスやIAMASライブなどで展示された。



#### 国際情報科学芸術アカデミー

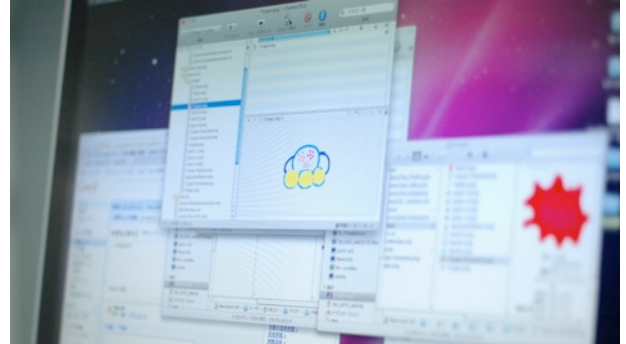
非常勤講師であるがアカデミーDSPコースのゼミとプロジェクトを担当し、大学院と同程度の比重で教育指導にあたった。以下はDSPコースの2年間ダイアグラムである。



## 研究開発

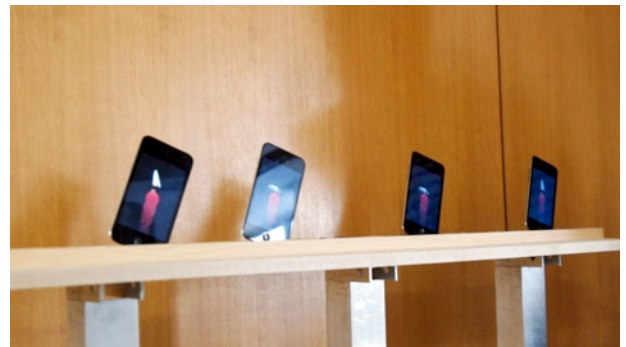
### Mobilizing

パリの研究機関Ensadと共同でiOS用簡易開発言語 Mobilizingを開発した。これは映像表現に特化しており、作品制作やワークショップで活用された。



### USC (Ultra Sonic Communication)

学内プロジェクトとしてデバイス間の距離測定を研究し、高音域での音声通信を実装した。この技術は多くの学生作品で使用され、高い評価を得た。



## 執筆

### 情報科学芸術大学院大学紀要 第3巻・2011年

三輪眞弘氏 (IAMAS教授) の芸術選奨文部科学大臣賞受賞に寄せた小文「三輪さん before IAMAS」を執筆した。

## 委員会

### 研究委員会

学内プロジェクトを中心に調査や協議を行った。サバティカル制度を提案したが、新設ではなく現行制度での対応を個別に検討することになった。

### RCIC委員会

産官学連携や地域連携を中心に調査や協議などを行った。スマートフォンITS協議会やGeekLabを提案したが、全学的な取り組みにはならなかった。

## 学外活動

### 産官学連携

#### スマートフォンITS協議会

スマートフォンITSの可能性を探る研究協議会の委員を務めた。経済産業省、名古屋大学、IAMAS、太平洋工業(株)など30以上の団体が参加し、8回の研究会、2回のセミナー、2回の展示が行われた。



#### 東京モーターショー、名古屋モーターショー

各モーターショーにおいてスマートフォンITS協議会の活動広報とともに、今後の可能性を示す展示を行った。一部のアプリ開発はIAMAS卒業生が起業した株式会社soneruに委託した。



### 産学連携

#### 企業顧問

ドリームコア入居企業4社の非常勤顧問として助言指導にあたった。このうちsoneruとGoccoはIAMAS卒業生のベンチャー企業。FEYNMANはモバイル育成ゲームの成功でバイアウトを果たした。



#### 育成ゲーム MEGU

ゆるふわな無料育成ゲーム「MEGU」。「MEGU」にお世話をしてレベルアップしよう！レベルが上がると、お世話できる事や買い物できるアイテムが増えたりします。レベルアップなどでもらえる「ゴールド」を使って、ゴハンやオウチを購入してあげましょう。★★★総合無料ランキング、無料ゲームランキング1位獲得!! 発売1週間で10万ダウンロード突破!!

カテゴリ：ゲーム      リリース：2010/8/12  
 言語：日本語・英語      料金：無料  
 開発者：株式会社FEYNMAN 開発チーム

iPhone、iPod touchおよびiPad 互換 iOS 3.1.3 以降が必要

#### 各種相談

モバイルやアートに関して企業などからの相談を多数受けた。これらは地元企業や学生に繋げることで事業化等の検討を行った。また学生の起業や就職進学などに関する指導助言も行った。

### 地域連携

#### GeekLab

大垣駅前のiamasOSにおいて週1回開催されるレクチャー等のミーティングの企画と運営を行った。全39回の開催でアートからモバイル、国内視察から海外中継まで内容は多岐に渡った。



#### 大垣市こどもIT講座

大垣市主催の中学生向けワークショップを企画し、学生が中心となって実施した。共同開発したプログラミング言語Mobilizingを用い、加速度センサーなどを活かしたアプリ作成を行った。



### 講師

#### 京都市立芸術大学

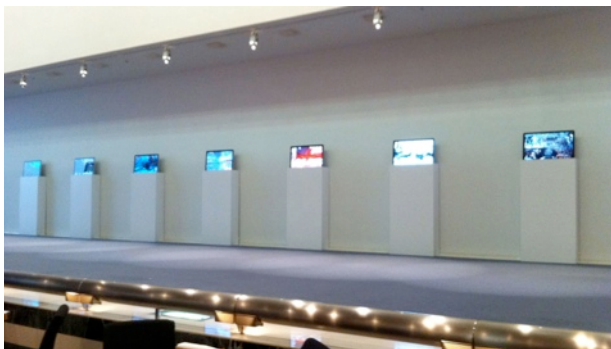
非常勤講師として美術専攻科・博士（後期）課程のメディア・アート概論を担当した。リアルタイム画像処理や3次元空間における映像処理などを中心にインタラクティブな表現を指導した。

## 個人活動

### 展覧

#### [ATOMxGALAXIESxCONNECT](#)

7台のiMacを用いてネットワーク化されたインタラクティブな映像の展覧を行った。アメリカ大使館主催のイベントとしてスパイラル・ガーデン（東京）で開催された。



#### [Okeanos Buoys II](#)

iPhone 40台をネットワーク化した映像音楽作品「Okeanos Buoys II」の展示を行った。「ルネサンス—京都・映像・メディアアート」展として京都芸術センターで開催された。



#### [Sync For Japan](#)

35台のiPadをネットワーク連動させたインタラクティブな映像音楽の展覧会を行った。Karl Bartos氏（元クラフトワーク）、小田英之氏（IAMAS教授）との三人展としてPARIS MIKI四条烏丸（京都）で開催された。



### 公演

#### [Unformatted](#)

独自開発した「Okeanos」や「Echochops」などのアプリを使用し、60台のiPhoneによるソロ演奏とピアニスト永井晶子氏らとのセッションを行った。parlwr（名古屋）にて開催された。



#### [The Breadboard Band](#)

IAMASのプロジェクト発表であるNxPC.LIVEにおいて、自作の電子回路やモバイル・アプリを活用して演奏を行った。他のメンバーはIAMASの卒業生である。



### 講演

#### [神戸ITフェスティバル](#)

「アート・テクノロジー・コンプレックス」と題して講演を行った。1990年代からのテクノロジーの進化が与えた影響と今後の姿を考察した。



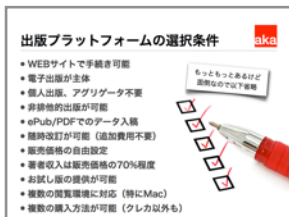
#### [画像センシング・シンポジウム \(SSII2011\)](#)

「見えないものを見るために」と題して講演を行った。画像解析や拡張現実などの研究とアートの関連性を示し、将来的な可能性を提言した。



### iPhone Dev Sap研究会

「今ドキの電子個人出版事情」と題して講演を行った。既存の出版業界と今後のITベースの個人出版の可能性を紹介した。



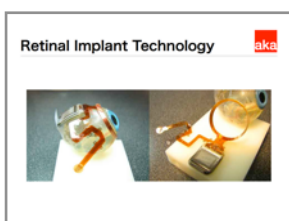
### 三城HD2012年年頭会議

「今ここにある未来」と題して講演を行った。20世紀から21世紀にかけてのテクノロジーの動向を紹介し、近未来の人々の行動と生活を提案した。



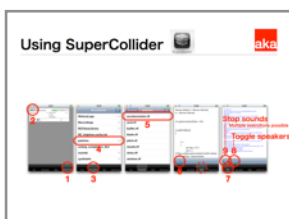
### 日本記号学会研究会

「時間の機械、機械の時間」と題してメディアによるタイム・トラベル体験の可能性を講演し、吉岡洋氏(京都大学教授)との対談を行った。



### SuperCollider Workshop at Womb Lounge

「愛のSuperCollider」と題して、音響合成用プログラミング言語SuperColliderのiOS版を紹介し、即興プログラミングによる集団演奏を行った。



### スマートフォンITSセミナー

「スマートフォンITSがもたらす世界：コンシューマの視点から」と題して、クルマITS業界の危機的状況とスマートフォンによる将来展望を考察した。



### 開発

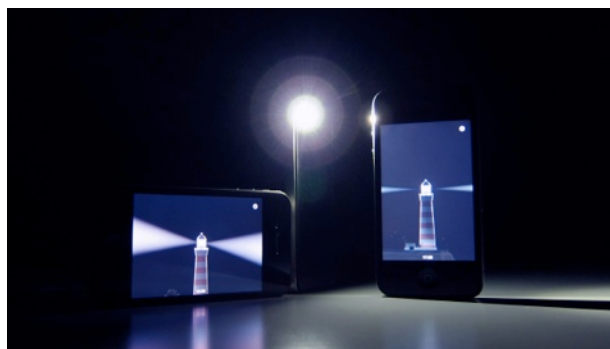
### MINI-COMPOSER

Karl Bartos氏(元クラフトワーク)と音楽アプリを共同開発し、東日本大地震の被災者への支援を呼びかける無料アプリとしてリリースした。



### Beacon Free

小田英之氏(IAMAS教授)と映像音響アプリを共同開発し、無料アプリとしてリリースした。周期的な音と閃光を放つようになっている。



その他、多くのアプリをアップデートし、最新OSへの対応を含めて機能拡張を行った。

### 著述

### 電子書籍「リアルタイム映像表現の可能性」

2005年に執筆したリアルタイム映像表現に関する論文に一部加筆し、電子書籍として刊行した。



**電子書籍「iOSの教科書」(共著)**

iOS用ネイティブ・アプリの開発手法を解説する書籍を執筆し、電子書籍として刊行した。その内容とともに開発環境に合わせて迅速に改訂版をリリースすることで高い評価を得た。



**雑誌「city&life」no.100 (鼎談)**

「超情報社会の到来、都市はどうかわって行くのか」というテーマで日端康雄氏(慶應義塾大学名誉教授)、熊坂賢次氏(慶應義塾大学教授)と鼎談を行い、その記事が掲載された。



**雑誌「アルテス」VOL.2 (対談)**

「iPhoneアプリが奏でる音楽の未来」というテーマでiOSと音楽について佐藤薫氏(EP-4)と対談を行い、その記事が掲載された。



**公募**

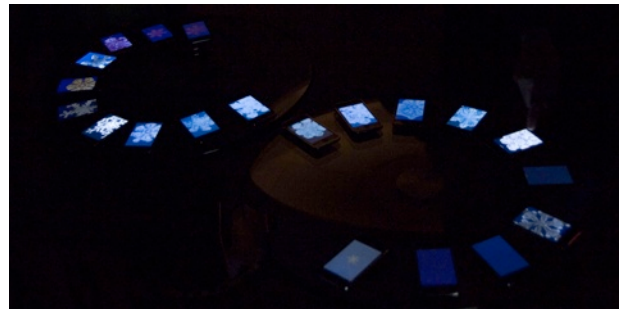
**「iOSの教科書」印刷製本プロジェクト**

電子書籍として刊行した「iOSの教科書」の印刷製本を近年注目されるクラウド・ファンディングを通じて提案し、支援者を募集した。応募期間の半分で達成率が140%を超えており、プロジェクト成立後に印刷製本が実施できる見込みである。



**iDonation**

不要になったiPhone、iPad、iPod touchの寄付を募り、作品制作に活用するとともに、資源エネルギー問題を考察した。昨年の募集開始以降現在までに数十台の寄付が寄せられている。



**視察**

**アメリカ西海岸視察**

Apple社のWWDC(世界開発者会議)に参加するとともにスタンフォード大学、法政大学アメリカ研究所、Evernote社、Cycling'74社、コンピュータ歴史博物館、SFMOMAなどの視察を行った。

